

糸我小学校だより

令和4年6月28日



暑い日が続いています。それでも子どもたちは、休憩時間に外で走り回って遊び、汗だくになって教室に戻っていく、そんな姿に感心させられます。

さて、もうすぐ6月が終わろうとしています。1学期も残すところあと1ヶ月たらずとなりました。今月号では5月後半から6月前半の学校の取り組みや元気な子どもたちの様子をお知らせします。

交通安全に心がけよう～自分の命は自分で守ろう～

5月17日(火)に交通安全教室を実施しました。前半は和歌山県警のひまわり隊の交通ルールについてのお話を聞きました。後半は運動場に出て実際に交通ルールを守る訓練を行いました。低学年は道を歩く時に注意すること、高学年は自転車に乗った時に気をつけることを体験とおして学習しました。ひまわり隊やお手伝いに来てくださった保護者の方に見守られる中、少し緊張した面持ちで体験しました。普段の生活の中でも、自分の命を自分で守れるよう今日の学習を生かしてほしいと思います。



まちづくり出前講座～ゴミの収集・処理～

5月17日(火)4年生が「まちづくり出前講座」で有田市生活環境課の方に来ていただきゴミ処理について学習しました。ごみステーションやゴミの出し方、環境センターの役割などについてお話を聞いたり、質問をしたりしました。後半では、実際にパッカー車を見せてもらったり、ごみ袋を入れさせてもらったりして安全に作業できる仕組みについて教えてもらいました。出来るだけごみを減らす工夫をするなど、環境問題について考え自分が出来る事を続けていってほしいと思います。



体力テストを実施しました

5月25日(水)に体力テストを実施しました。握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、20mシャトルラン、50m走、ボール投げの8種目を行い体力・運動能力を測定します。このデータを全国のデータと比較し、糸我小学校の子どもたちの弱点を見つけ改善していこうというものです。子どもたちはそれぞれの種目に一生懸命チャレンジしていました。



避難訓練(地震想定)を実施しました

6月2日(木)地震を想定した避難訓練を行いました。校内に緊急地震速報(訓練用)が警報音と共に放送されました。子供たちはいち早く机の下に身を隠し、地震がおさまるのを待ちます。その後、担任の指示に従って運動場に避難して行きました。地震はいつ、どこで起きるか分かりません。もしかすると登下校中に起こるかも…。そんな時、どうすれば良いかご家族で話し合っておくことも大切です。交通安全同様、自分の命は自分で守れるように、安全な方法を考え行動できるようにしましょう。



仁平寺に行ってきました(1・2年生)

糸我には、自然や歴史的なものがたくさんあります。そのひとつに仁平寺があります。

6月7日(火)、1・2年生が仁平寺に行ってきました。仁平寺は、アジサイで知られ梅雨の時期になると色とりどりのアジサイが開き、そのためアジサイ寺とも言われています。

今年は、林 政之さんに仁平寺、アジサイについてお話しいただきました。その後、アジサイの花の鑑賞に回り、いろいろな形や色の紫陽花を楽しみました。季節感を大切にしたい低学年ならではの地域学習でした。



糸我小学校だより

令和4年6月28日



『田んぼの学校』の活動 <アイガモの孵化>

アイガモ農法の主役であるアイガモが、卵から孵りました。これまで5年生の子供たちが孵卵器の温度や湿度の管理を毎日していました。低学年の子供たちも孵卵器の中をのぞき込んで「まだ、孵ってないなあ」「いつ卵から出てくるんやろ」と楽しみに待っていました。孵ったひな鳥は一旦別の箱の中に移します。その姿を見ようとみんな集まってきました。全ての卵が孵ったら、今度は体育倉庫の中に設置した飼育箱に引っ越します。今度はこの飼育箱で餌やり、水替え、わら換えなどのお世話が始まります。この活動をとおして命の不思議や命を大切に育つ気持ちが育ってほしいと思います。



<苗取り>

6月8日（水）に、先月蒔いた籾が成長してきたので、5年生が苗取りをしました。糸我地区青少年育成会会長の山崎光二さんの指示の下、子供たちは作業を行いました。この日も育成会の方を始め地域の方やPTA役員の方々がたくさん参加してくださいました。

地域の方や子供たちはコンテナに座り苗をとっていきます。明日の田植えに備え、苗を一定の束にしてわらで縛ります。縛り方は、地域の方が教えてくださいました。こういう地域の方との交流もこの活動の良い点です。明日は全校児童で田植えです。



<田植え>

6月9日（木）は、全校児童で行う田植えの日でした。前半は1・4・6年生が、後半は2・3・5年生が田植えをしました。高学年の子供たちは低学年のお世話をしながら田植えをします。今年は、副市長の田代利彦氏も田んぼに入り田植えに参加してくれました。

育友会副会長の伊藤誠悟氏のかけ声に合わせて子供たちの田植えが進んでいきます。慣れない田んぼの中で足を取られながらも楽しみながら活動できました。田植えの体験をとおして、米を育てる苦労や大変さを知り、自分たちが育てるお米への思いをしっかりとってほしいと思います。



<放鳥（アイガモを田んぼの学校へ）>

田植えが終わると放鳥です。6月12日（日）に育成会や保護者の方が田んぼの学校に集まりアイガモが逃げるのを防ぐための電柵ネット張りしました。6月16日（木）5年生と1・2年生と一緒に田んぼの学校へ行って、アイガモを田んぼの中に放します。5年生の子どもたちは、低学年の子供たちに「大丈夫、怖くないよ」「ここを持って」など声をかけながらアイガモを持たせてくれていました。卵から孵化したアイガモを育ててきた5年生のみなさんお疲れ様でした。また、田んぼにアイガモの様子を見に行ってみましょう。



※電柵ネットに電気がとっていますので、ご注意ください。

